

令和2年度 第2回多賀町立図書館協議会会議録 (抜粋)

開催日時	令和2年12月22日(火) 午後2時～午後4時20分
開催場所	あけぼのパーク多賀 2階 大会議室
出席者	会長 小林 紳悟 副会長 川瀬 修 委員 久保川 雅子 委員 村田 安岐 委員 火口 悠治 委員 夏原 晃久 委員 桐山 圭市 委員 宮野由紀絵
事務局	音田生涯学習課長、夏原あけぼのパーク多賀館長、西河内館長、岸本課長補佐、建部係長
欠席者	委員 長谷川 毅
協議事項等	(1) 音田生涯学習課長あいさつ (2) 委員自己紹介 (3) 会長・副会長の互選 (4) 協議・報告事項 ①利用者の利用状況数について ②図書館協議会交流会参加報告について ③第1回協議会資料の質問等に伴う回答について ④令和3年度図書館費予算(案)について (5) その他
内 容	
(1) 生涯学習課長あいさつ (2) 委員自己紹介 (3) 会長・副会長の互選について 事務局より、運営規則により、どのように決定すれば良いかの提案意見募集をする。 委員 事務局(案)があれば 事務局 会長に小林 紳悟 委員を、副会長に川瀬 修 委員を(案)として提案する。 委員 異議なし。 副会長 議事進行にあたり、協議・報告事項について事務局の説明を求める。	

(1) 利用者の利用状況数について

事務局説明

- 委員 貸出の少ない時期は何かあったのか。
- 事務局 夏休み期間中などは、学校が閉まっており利用は少ない。その分、本館にこられる方が多い。
- 委員 コロナのこともあって4月から6月は少ない。多賀結いの森については、どのような状況か。
- 事務局 9か所の状況について説明。ふれあいの郷については、中学校の生徒を対象に考えていたが、バスの出発時間と重なり、利用しにくい状況だった。バス時間の設定に問題があった。多賀結いの森は、年度途中からの実施。8月頃より親子づれの利用がある。その他に幼稚園・保育園。子ども園などは、新入生に向けて利用カードの発行を進めたことで各園での利用が増えた。
- 委員 多賀結いの森での利用者は、毎月同じ方か。
- 事務局 職員が交代で行っているのですが、わからない部分はあるが、親子連れであり、同じ方だと思われる。
- 事務局 コンピュータのシステムが新しくなり、利用カード更新時に、ネットでの予約ができることを周知している。併せて、メール登録も推奨している。登録すると貸出期限の3日前に返却のお知らせがメールで届く。延滞者が少なくなった。
- 委員 紙芝居の場所にテーブルがなく、資料の中身の確認がしにくい。また、たくさん入っているの、少し余裕を持って配置してほしい。
- 事務局 リクエストカードを置いている近くのテーブルを使用していただきたい。
- 委員 コロナ禍の対応で、検索ができないのは不便である。また、当日の新聞や雑誌がおいていなかった。
- 事務局 新刊雑誌等を制限したのは、コロナ禍での感染症拡大防止策として警戒をしていた。
- 委員 開館時間が30分早くなっているが、その旨の表示が正面に貼っておらず、何時に閉まるかわからなかった。大きく閉館時間を明示してはどうか。また、この閉館の繰り上げでブックポストへ返す方が多いのか、満杯状態なのか。
- 事務局 30分繰り上げの影響はない。

事務局 5月後半のから、館内消毒作業を行っていて、現在も継続している。毎月下旬のあけぼの内の館長会議で、翌月のコロナ禍対応について協議・検討している。

委員 学校司書についてはどうか。

事務局 当町の場合は、株式会社リブネットに職員の派遣を委託している。小中学校の学校図書室の運営を任せている。

委員 大滝小学校では、株式会社リブネットが多賀町立図書館に行き、児童向けの資料を借りている。それを学校で貸し出している。

委員 多賀小学校では、移動図書館車来館時に校内放送で、児童に向けてのお知らせをしている。

(2) 図書館協議会交流会参加報告について

事務局 説明

事務局 例年は、県立図書館で、交流会の研修をおこなっている。しかし、今年度は、参加人数を絞っての参加依頼であった。協議会委員や読書ボランティアがグループになって話す良い機会であったが、コロナ禍のため、講演という形で開催された。P7の下段あたりにまとめがあり、委員の皆さんに取り組んでいただきたい内容が書かれている。

委員 図書館協議会交流会は、意見交換の場でもある。有意義な会議ですので、来年度参加してほしい。

(3) 第1回協議会資料の質問等に伴う回答について

事務局 説明

委員 P11の番号14の上から3行目のYA世代とは何か。何かの略か。

事務局 中高生の年代で18歳まで位を指している。ヤングアダルト世代。

委員 利用者としては多いのか。

この世代向けに映画化された書籍で人気のあるものを購入し、中学校に人気のある本が入ったことを伝えたらよいのではないかと。また、P12の21について、これは図書館職員が講師となつてのブックトークを指していると思うが、これも一つの方法かと思う。人気作家の本や人気アイドル出演の映画化された本も購入してはどうか。そうすれば借りてもらえるのではないかと。

事務局 この世代の貸出は少ない。青いラベルで色分けして別においている。YA 向けの資料を選書して購入している。

委員 P10の番号13、広報活動で図書館だよりについて、きれいにまとめているのがうれしい。図書館だよりは、回覧で回ってくるので、早く回してしまう。HPに載せてはどうか。多賀小や大滝小も載せている。図書館でも載せてもらったらどうか。是非おねがいしたい。

事務局 図書館HPがあるので、今後掲載の方向で進めていく。

委員 P12の番号22について、保幼小中連携において、中学生の家庭学習に併せて家での学習・宿題をがんばる取り組みを11月16日からの1週間ノーメディアデーとして取り組んだ。今後もこのような取り組みを行うので、情報共有しながら進めてはどうか。

委員 P10の番号10について、著作権と映画会について書かれているが、Q&AのP14にも書かれているが。図書館が主催して図書館で映画会をやる理由をしっかりと伝えてはどうか。

(4) 令和3年度図書館予算について(案)

事務局 説明

委員 今から予算の増額はできるのか。

事務局 現在、提出している。部分的に、ここで下げるので、ここは上げてほしいということは、いえるかもしれない。

委員 新しい本を増やしてほしい。令和2年度は、資料購入費が増えたのでありがたい。増えた分で、季節に関する本や紙芝居を増やしてほしい。例として、雪遊び、冬に咲く花、冬に関連するもの。七夕も関連するものや種類を増やしてほしい。大型絵本が増えたのもうれしい。

事務局 利用者の方に喜ばれるものを購入していきたい。

委員 ひとつ質問だが、障害者の害の字は、漢字かひらがなかどちらを使うものか。

事務局 図書館利用に障害のある人として、障害者と表示している。

委員 新型コロナが流行っている。他の図書館で殺菌する機械を取り入れていると

ころがあるが、費用はいくらぐらいで、効果はあるのか。

事務局 本を消毒する効果があるのかといえば、あまり効果はないのではないか。紫外線を当てるので、本が傷む原因になる。また、初期費用も高く、維持管理費も必要となる。

委員 施設入口にある人に対するセンサー機器だが、どれくらい機能しているのか。立ち止まってする効果があるのか。

館長 サーモカメラで感知し、37℃以上の体温に反応する。夏は帽子を取って測定してもらっている。また、マスクを取ってくださいと伝えている。本人は知らないまま入っている場合は写真を撮り、判定している。38℃以上の場合は、基本的に利用は控えてもらう。

委員 そのあたりはきちんとした方がよいのでは。気がつかない人もいるのでは。また、測定機器と図書館カウンターは、離れていてわからないのではないか。

委員 気づくほどカウンターに、人がいないのではないか。気づいたらというのは効果がない。

委員 実際どうなのか。

館長 夏に体温の高い方があったが、再度落ち着いて対応したら大丈夫だった。

委員 きちんと対応した方がよいのではないか。案内も分かりやすいようにしてはどうか。立ち止まる位置等。また、博物館事務室の横から入ったらブロックされない。管理体制をきちんとした方がよいのではないか。

生学課長 このサーモカメラは、注意喚起のために設置しているものである。チェックは、ほとんどしていない。実際帰っていただいた方はいない。三蜜を避ける。事業をするときに使用するため、他の館に貸し出している。あくまで使い方としては、注意喚起を目的としている。安心して施設利用していただくために置いてある。

委員 せっかくなので、パーフェクトは無理かもしれないが。例えば時間を決めて確認するなどしては。もう少し上手く使ってはどうか。

委員 来年度の雑誌の予算について、他の市町と比べて高いのか低いのか。人口や

規模も分からないが、大都市ではないので。多賀町は、少ないように感じる。他の市町はどうなのか。

事務局

多賀町は、標準ではないか。愛荘は、2館あり雑誌の調整をしている。広いし種類も多い。全国的に見ても滋賀県は多い。財政の厳しい自治体では、雑誌費用を切られてしまう。雑誌は必要という声を伝えていく。また、寄贈にも力を入れていく。

委員

予算については、年度ごとの予算額で比較しているが、これを決算額で表してはどうか。

事務局

令和2年度については、出納閉鎖して決算が出てから、この協議会で知らせる。

委員

時間がない中、大事な予算の話を最後にするのはどうか。次第に沿って話をしているが、大事な協議内容は順番どおりの進め方ではいけないのではないか。

委員

人件費等は、こちらではわからないことであり、予算の中身において、ソフト面でやってほしいことやっていくべきことを協議してはどうか。

事務局

活発なご意見をいただき、ありがとうございました。それでは、次回、令和3年3月15日前後で開催日の調整をさせていただきます。本日はありがとうございました。